

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

p-オクチルフェノールのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する
延長毒性試験 - 14日間

試験番号

7B808G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.204「魚類延長毒性試験 - 14日間」
(1984年) に準拠して実施した。

- 1)被験物質： p-オクチルフェノール
- 2)暴露方式： 流水式 (定量ポンプを用いる連続希釈装置を使用)
- 3)供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4)暴露期間： 14日間
- 5)試験濃度 (設定値)： 対照区, 助剤対照区, 0.0049, 0.0135, 0.0368および0.100mg/L
(公比: 2.7)
- 6)試験液量： 32L/日 (22.55mL/min, 5.0L容ガラスビーカー使用)
- 7)連数： 1容器/濃度区
- 8)供試生物数： 10尾/濃度区
- 9)照明： 16時間明/8時間暗
- 10)試験温度： 24±2°C
- 11)試験液の分析： HPLC法

結 果

- 1)試験液中の被験物質濃度： 試験区において設定濃度に対して±20%を越える分析結果が
あったため、以下の値は測定濃度の算術平均値を基に示した。
- 2)14日間の最小致死濃度： >0.0921mg/L

- 3) 14日間の最小作用濃度：0.0921mg/L
- 4) 14日間の最大無作用濃度 (NOEC)：0.0368mg/L
- 5) 7日間の半数致死濃度 (LC50)：>0.0921mg/L
- 6) 14日間の半数致死濃度 (LC50)：>0.0921mg/L